



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コード番号 6674 URL <http://www.gs-vuasa.com/jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 依田 誠
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート室長 (氏名) 中川 敏幸

TEL 075-312-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	82,321	25.4	3,109	93.2	3,763	41.6	2,342	—
26年3月期第1四半期	65,632	4.3	1,609	12.8	2,658	37.9	127	△88.0

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 2,247百万円 (△15.4%) 26年3月期第1四半期 2,656百万円 (△5.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	5.67		5.29	
26年3月期第1四半期	0.31		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	331,865		158,424		41.4	
26年3月期	340,462		154,702		41.0	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 137,309百万円 26年3月期 139,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.00	—	7.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	180,000	21.7	7,000	87.2	7,500	47.7	4,000	31.4	9.69
通期	380,000	9.2	25,000	37.4	26,000	27.9	13,000	30.2	31.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	413,574,714 株	26年3月期	413,574,714 株
27年3月期1Q	777,111 株	26年3月期	773,397 株
27年3月期1Q	412,800,025 株	26年3月期1Q	412,819,658 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(四半期損益の推移)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率が引き上げられた4月以降、駆け込み需要の反動から一時的に減速したものの、企業収益が改善傾向であることや底堅い個人消費などを背景に、緩やかながら回復基調で推移しました。

世界経済に目を転じますと、米国では悪天候の影響で成長率が一時的に下振れたものの、雇用の回復や好調な個人消費に支えられ、景気回復が持続しました。また、欧州経済でも内需が堅調なドイツに牽引される形で回復基調ではあったものの、一部の周辺国で再びマイナス成長に転じるなど懸念材料の多い中で推移しました。中国でも輸出の減少や個人消費の減速などが見られ、景気の減速懸念が強まっていることなど、先行き不透明な中で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内では車載用リチウムイオン電池の販売が増加したことや、海外では前第2四半期よりタイの持分法適用関連会社を連結子会社化したことに伴う当第1四半期分の計上や、為替による影響などにより、823億21百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて166億89百万円増加(25.4%)しました。

当第1四半期連結累計期間の利益は、車載用リチウムイオン電池の販売増加に伴う利益増加に加え、海外セグメントの利益増加などにより、営業利益は31億9百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて15億円増加(93.2%)しました。経常利益は、為替差損の発生などにより、37億63百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて11億5百万円増加(41.6%)にとどまりました。四半期純利益は、税金費用及び少数株主損益を計上したことにより、23億42百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて22億14百万円増加しました。

②報告セグメント別の動向

(国内自動車電池)

売上高は、主にアイドリングストップ車向け新車用鉛電池が順調に販売を伸ばしましたが、自動車関連部品の販売が減少し、114億20百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて3億63百万円減少(△3.1%)しました。セグメント損益は、主原料である鉛相場の上昇があったものの、販売増加に伴う利益増加により、2億39百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて1億35百万円増加(129.2%)しました。

(国内産業電池及び電源装置)

売上高は、携帯電話の基地局向け電源装置の販売が好調に推移したことや、当第1四半期連結会計期間より組織変更に伴い従来その他に含めていた照明・膜事業を国内産業電池及び電源装置セグメントに移管したことにより、150億77百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて13億10百万円増加(9.5%)しました。セグメント損益は、主原料である鉛相場の上昇などにより、2億25百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて3億40百万円減少(△60.2%)しました。

(海外)

売上高は、前第2四半期よりタイの持分法適用関連会社を連結子会社化したことに伴う当第1四半期分の計上や、為替による影響などにより、421億90百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて71億63百万円増加(20.5%)しました。セグメント損益は、売上増加に加え、材料費の売価転嫁及び合理化の推進により、26億33百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて5億84百万円増加(28.5%)しました。

(リチウムイオン電池)

売上高は、主として車載用リチウムイオン電池の販売増加により、113億27百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて98億33百万円増加(658.0%)しました。セグメント損益は、5億97百万円の損失となりましたが、前第1四半期連結累計期間に比べて10億37百万円改善しました。

(その他)

売上高は、照明・膜事業が国内産業電池及び電源装置セグメントへ移管されたことにより、23億6百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて12億54百万円減少(△35.2%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、6億8百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて83百万円増加(16.0%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、需要期を控えて棚卸資産が増加しましたが、売上債権の回収が進んだことにより、3,318億65百万円と前連結会計年度末に比べて85億96百万円減少しました。

負債は、設備代金の支払い及び有利子負債の圧縮により、1,734億41百万円と前連結会計年度末に比べて123億19百万円減少しました。

純資産は、配当金の支払がありました。また、四半期純利益及び少数株主持分の増加により、1,584億24百万円と前連結会計年度末に比べて37億22百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,062百万円増加し、利益剰余金が685百万円減少しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に係る影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成26年3月31日	当第1四半期連結会計期間 平成26年6月30日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,760	20,551
受取手形及び売掛金	76,475	64,975
有価証券	5,644	2,017
商品及び製品	30,592	34,642
仕掛品	13,702	15,117
原材料及び貯蔵品	12,114	12,247
繰延税金資産	3,474	3,482
その他	8,751	8,466
貸倒引当金	△303	△381
流動資産合計	168,211	161,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,799	54,230
機械装置及び運搬具（純額）	42,925	41,461
土地	21,892	21,650
リース資産（純額）	2,368	2,174
建設仮勘定	2,622	2,674
その他（純額）	4,568	4,454
有形固定資産合計	129,177	126,646
無形固定資産		
リース資産	455	450
その他	1,935	1,872
無形固定資産合計	2,390	2,322
投資その他の資産		
投資有価証券	35,497	36,663
その他	5,658	5,589
貸倒引当金	△564	△562
投資その他の資産合計	40,591	41,690
固定資産合計	172,159	170,659
繰延資産	90	86
資産合計	340,462	331,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成26年3月31日	当第1四半期連結会計期間 平成26年6月30日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,740	41,128
短期借入金	21,662	19,759
未払金	18,202	14,516
未払法人税等	5,925	1,229
設備関係支払手形	4,306	1,796
その他	14,299	15,607
流動負債合計	107,135	94,037
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	25,000	25,000
長期借入金	33,471	34,164
リース債務	2,027	1,838
退職給付に係る負債	5,739	6,129
その他	12,386	12,270
固定負債合計	78,624	79,403
負債合計	185,760	173,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	54,880	54,880
利益剰余金	42,488	40,747
自己株式	△326	△328
株主資本合計	130,063	128,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,804	7,266
繰延ヘッジ損益	△20	△6
土地再評価差額金	1,418	1,418
為替換算調整勘定	3,808	2,591
退職給付に係る調整累計額	△2,620	△2,280
その他の包括利益累計額合計	9,390	8,989
少数株主持分	15,247	21,115
純資産合計	154,702	158,424
負債純資産合計	340,462	331,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成26年4月 1日 至 平成26年6月30日
売上高	65,632	82,321
売上原価	51,230	65,269
売上総利益	14,401	17,052
販売費及び一般管理費	12,792	13,942
営業利益	1,609	3,109
営業外収益		
受取利息及び配当金	228	263
持分法による投資利益	661	761
為替差益	368	—
その他	208	200
営業外収益合計	1,467	1,226
営業外費用		
支払利息	269	212
為替差損	—	123
その他	149	236
営業外費用合計	418	572
経常利益	2,658	3,763
特別利益		
固定資産売却益	16	70
投資有価証券売却益	498	—
子会社株式の段階取得に係る差益	211	—
その他	71	8
特別利益合計	798	79
特別損失		
固定資産除却損	47	13
固定資産売却損	4	0
リコール関連損失	3,000	—
その他	173	124
特別損失合計	3,225	138
税金等調整前四半期純利益	231	3,704
法人税等	2,010	1,146
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,779	2,557
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,907	215
四半期純利益	127	2,342

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月 1日 至 平成25年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成26年4月 1日 至 平成26年6月30日
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,779	2,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	458
繰延ヘッジ損益	37	13
為替換算調整勘定	3,359	△756
退職給付に係る調整額	—	339
持分法適用会社に対する持分相当額	720	△365
その他の包括利益合計	4,435	△309
四半期包括利益	2,656	2,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,962	1,941
少数株主に係る四半期包括利益	△1,306	306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,783	13,766	35,026	1,494	62,071	3,560	65,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	270	520	349	29	1,169	△1,169	—
計	12,053	14,287	35,375	1,524	63,241	2,391	65,632
セグメント利益又は損失 (△)	104	566	2,049	△1,635	1,084	524	1,609

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、照明事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△525百万円であり、セグメント間取引消去△315百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,420	15,077	42,190	11,327	80,015	2,306	82,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	393	618	454	138	1,605	△1,605	—
計	11,813	15,695	42,645	11,466	81,620	701	82,321
セグメント利益又は損失 (△)	239	225	2,633	△597	2,501	608	3,109

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△645百万円であり、セグメント間取引消去△404百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△240百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い従来「その他」に含めていた照明・膜事業を「国内産業電池及び電源装置」に区分変更しております。なお、当該変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 自動車電池	国内産業 電池及び 電源装置	海外	リチウム イオン電池	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,783	14,893	35,026	1,494	63,198	2,433	65,632
セグメント間の内部 売上高又は振替高	270	530	349	29	1,179	△1,179	—
計	12,053	15,424	35,375	1,524	64,378	1,254	65,632
セグメント利益又は損失 (△)	104	478	2,049	△1,635	996	612	1,609

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△525百万円であり、セグメント間取引消去△315百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

4. 補足情報

(四半期損益の推移)

平成27年3月期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H26/4-6)	②第2四半期 (H26/7-9)	③第3四半期 (H26/10-12)	④第4四半期 (H27/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	82,321	—	—	—	—	—	—
営業利益	3,109	—	—	—	—	—	—
経常利益	3,763	—	—	—	—	—	—
四半期(当期)純利益	2,342	—	—	—	—	—	—

平成26年3月期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H25/4-6)	②第2四半期 (H25/7-9)	③第3四半期 (H25/10-12)	④第4四半期 (H26/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	65,632	82,278	92,557	107,526	147,911	240,468	347,995
営業利益	1,609	2,130	6,022	8,435	3,739	9,762	18,197
経常利益	2,658	2,421	6,290	8,963	5,079	11,369	20,333
四半期(当期)純利益	127	2,917	1,866	5,070	3,045	4,912	9,982

平成25年3月期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H24/4-6)	②第2四半期 (H24/7-9)	③第3四半期 (H24/10-12)	④第4四半期 (H25/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	62,900	64,581	68,396	78,631	127,481	195,878	274,509
営業利益	1,426	2,630	2,405	3,311	4,057	6,463	9,775
経常利益	1,927	3,025	3,207	4,099	4,952	8,159	12,258
四半期(当期)純利益	1,062	2,085	2,371	248	3,147	5,519	5,767

平成24年3月期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H23/4-6)	②第2四半期 (H23/7-9)	③第3四半期 (H23/10-12)	④第4四半期 (H24/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	60,348	71,546	73,358	80,180	131,895	205,253	285,434
営業利益	812	3,985	4,129	7,103	4,797	8,927	16,030
経常利益	1,186	3,881	4,934	7,989	5,067	10,002	17,991
四半期(当期)純利益	131	2,344	3,251	6,005	2,476	5,727	11,733

平成23年3月期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H22/4-6)	②第2四半期 (H22/7-9)	③第3四半期 (H22/10-12)	④第4四半期 (H23/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	59,229	68,793	69,417	75,073	128,022	197,440	272,514
営業利益	2,241	3,872	5,841	5,633	6,114	11,955	17,589
経常利益	2,079	3,750	6,365	5,318	5,829	12,195	17,513
四半期(当期)純利益	815	1,798	5,427	3,681	2,613	8,041	11,722